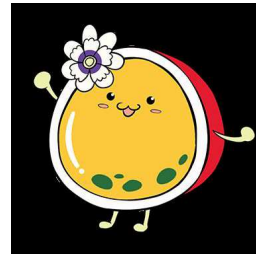


八王子パッションフルーツ応援隊！

団体名 中央大学経済学部

伊藤伸介ゼミナール商品開発班

代表者名 中野翔太



組合のキャラクター「ふるーみん」

① 事業内容

八王子市の隠れた名産であるパッションフルーツの魅力を伝えることを活動の目的としている。そのために、地元の和菓子屋の支援を受けながら、パッションフルーツを利用した新商品の販売の企画、広報活動、およびアンケート調査による分析を行った。新商品の販売については、レシピ開発を私たちが行い、店舗による代理開発・販売という手段を利用した。具体的には、青木万年堂様の本店において、「**パッションフルーツ大福**」の販売を行った。

② 事業報告

(1) 活動に至るまで

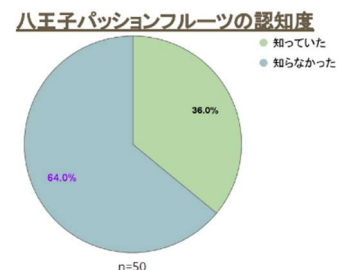
ゼミ活動を通じて、八王子市には魅力的な名産品が数多く存在することを知った。そういった中、八王子市農協パッションフルーツ生産組合が積極的にPR活動を行っていることを知り、“**八王子産パッションフルーツ**”は、八王子の名産品の魅力を伝えるという本研究のテーマにふさわしいと考えた。“パッションフルーツ”は果実単体だと酸味が強いことから、加工品での販売が適している。その魅力を活かし、地元の和菓子屋と手を取り合って、地域間でのつながりを深め、“パッションフルーツ”を周知する事業を実施した。

(2) 青木万年堂での販売

ゼミ生による継続的な生産は難しいと考えたため、青木万年堂様に協力してもらう形で商品開発を行った。具体的には、レシピと試作資金を提供した上で、青木万年堂様が生産・販売を行う形を取った。商品開発にあたっては、ゼミからの要望や意見も取り入れられた。なお、当該店舗での販売は毎日売り切れたとのことで、十分な利益をもたらすことができたと考えている。

商品販売は10月21日～現在までで行われている。「パッションフルーツ大福」は1週間あたり **105個**提供し、いちょう祭りで販売を行った際には午前中で**約200個完売**の売り上げを記録した。

実施したアンケート調査によれば、“パッションフルーツ”の認知度は低かったものの、商品開発によって、“八王子パッションフルーツ”の魅力を伝えることに貢献できたと言える。



(3) 広報活動、アレンジレシピ

Instagram のアカウントを作成し、広報活動を実施した。開発した商品の紹介に加え、八王子パッションフルーツの特徴などに関する紹介も行った。

また、ゼミ生で POP を作成し、大学構内や当該店舗に設置することで、多くの方に認知してもらおうことを目指した。



(青木万年堂・大学構内 で設置した POP)

(3) その他の活動

11月19日・20日に行われた「第43回八王子いちご祭り」にて、同じ学生企画事業補助金採択団体の創価大学理工学部丸田ゼミ様と共同で出店を行った。

バイオプラスチックを使用したフォークなどを開発されており、私たちのパッションフルーツ大福を食べる際に使用していただけるのではないかと考えたためである。

また、学生の街である八王子の紹介として、NHKの番組にて私たちの活動取材していただいた。

③ 事業を実施した感想

事業の実施を通して、地域における事業者間の繋がりの可能性を強く感じた。新商品の開発や販売は店舗への負担が大きいことから、交渉は難航した。しかしながら、パッションフルーツという八王子の名産品の魅力を伝えるという目的に対する多くの事業者の賛同と積極的な支援によって、今回の企画を実施することが可能になった。学生のゼミ活動の一環であっても、地域活性化のために事業者をつなぐための取り組みができれば、八王子市の発展、魅力の向上に貢献できることを学んだ。

今回の事業で良かった点は、ゼミ生自身で商品開発をできたことである。開発時期を十分に取って、店舗で販売が可能なレベルの商品を開発することができた。私たちの卒業後も店舗での販売が継続される予定である。昨年度の先輩方のアドバイスを十分に生かすことができたと感じる。



(Instagram アカウント)

※現在のフォロワー数は116人